

グローバル化に向け、学校の英語教育を充実

グローバル化が急速に進展するなか、英語は国際的共通語として中心的なコミュニケーションツールとなっており、学校での英語教育の充実がますます重要になってきています。

四條畷市教育委員会は外国語が小学校で教科化される以前から、大阪府のオリジナル教材「DREAM」を使用してリスニングに慣れさせたり、外国人指導助手(ALT)を学校に派遣し、ネイティブとの会話から発音や外国文化に触れる機会を作って、小学生のときから英語に興味を持つような教育に取り組んでいます。

また、教員は英語の授業が子どもたちにとってより楽しく、分かりやすくなるよう、授業方法や教材を交流し合う英語教育担当者連絡会を開催し、外国語・英語の研修を重ねています。

一方、四條畷市では外部検定試験を行い、児童生徒や教員に対して英語能力を確認できる機会を設けています。検定にチャレンジすることで自身の英語の力が確認でき、そのことが英語学習の意欲向上に繋がると考えます。

1 新しいALTが来ました

長く本市に関わってくださったALTに代わって

新しいALTが5人来日しました。

新しいALTは、待機期間を東京で過ごし、その間に日本の文化や生活様式などについて研修を受けました。

その後、四條畷市教育委員会の指導主事や本市で

長く勤務する経験豊富な先輩ALTから、英語授業

でのALTの役割や英語授業の準備の仕方などの研修を受けました。



市の新規来日ALT対象研修の様子 2021.12.22

ALTの基本知識や授業について熱心に受講しまし

た。タブレットを使用しての教材作りの方法など、実際

の授業に役立つスキルを身につける研修内容でした。

ALT たちは新たに配属された学校で、早速、児童生徒と
あいさつを交わし、親睦を深めていました。また、授業では
児童生徒と英語で自己紹介をし合って、お互いの文化や
習慣を言葉や映像を使って説明するなど、英語によるコミ
ュニケーション力を向上させる活動を行いました。

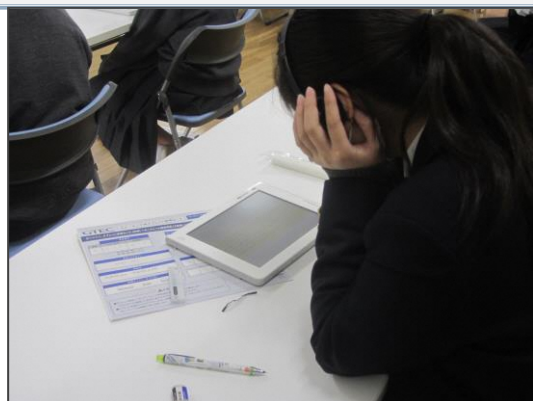


新しい ALT たちは学校内の授業で実践を積む傍ら、
学校外では市内の英語教員が参加する英語教育担当者
連絡会に参加して英語の授業方法について学んだり、
大阪府が主催する研修を受講して ALT としてスキルアップ
を図っているところです。

赴任先の学校で生徒と一緒に英語
ゲームをして、生徒の学習を
サポートする新規来日 ALT

2 外部検定試験を活用 意欲と自信を持たせる取組み

四條畷市では小中学生の英語の能力向上ため、GTEC
という外部検定試験^{※1}に参加をしています。試験は小学6
年生と中学2年生が全員受検します。子どもにとっては、
日頃の授業で身につけた英語の力を試す機会となり、自信
に繋がることも期待されます。検定内容は英語の4技能(聞
く、話す、読む、書く)を測定するもので、検定結果が個人に
配布されます。



GTEC のリスニング問題に取り組む
中学2年生

(※1)小学6年生…GTEC Junior2 中学2年生…GTEC Core



GTEC Core を受検する中学生

また、中学3年生に対しては、実用英語技能検定
(英検)について、3級以上の受検を希望する生徒に対し
て年1回の受検料を補助しています。
合わせて、教員の授業力向上に向け、希望する教員
に対して「TOEIC」を実施しています。自己の研修の成
果を確認しようと、毎年、複数の教員が受検し、教員の
英語力向上の一助となっています。